

## 養蚕を活用した高齢者生きがい活動・世代間交流拠点整備

- 老人会メンバーを対象に、元気な高齢者になるための地域貢献活動の一環として、空き農家等を活用し蚕の飼育を、技術伝承、生きがい対策として位置付け実施。
- 生産された繭を活用して、「まゆ玉」工芸、「真綿」懸けによって「チョッキ」「半纏」作りなどの研修を実施し技術を習得。
- 今後、習得した技術を活用し、体験教室を開催して多世代との交流を図る。



## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	みなかみ町	
②人口（※１）	21,285人	(637人)
③高齢化率（※１） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 32.8% 75歳以上 18.9%	(37.0%) (21.7%)
① 取組の概要	みなかみ町の須川・笠原地区の老人会メンバーを対象に、元気な高齢者になるための地域貢献活動の一環として、空き農家等を活用し蚕の飼育を地域老人会メンバー等により技術伝承、生きがい対策として位置付け実施した。	
⑤取組の特徴	生産された「繭」を活用しての「まゆ玉」工芸や「真綿」懸けによって「チョッキ」「半纏」作りなどの研修を行い技術を習得し、今後の体験指導を実施する準備を行った。	
⑥開始年度	平成23年度	
⑦取組のこれまでの経緯	かつて養蚕が盛んに行われた地域なので、空いている養蚕農家及び桑園を探し蚕の飼育の準備を行った。蚕を飼育し繭を生産した。生産した繭を使用して、まゆ玉工芸等の研修を実施し技術を習得した。	
⑧主な利用者とな数	須川・笠原老人クラブメンバー 30人	
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	みなかみ町社会福祉協議会、須川老人クラブ、笠原老人クラブ	
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	群馬県地域支え合い体制づくり事業費市町村補助金を財源に、みなかみ町地域支え合い体制づくり事業費補助金を創設し、事業実施主体であるみなかみ町社会福祉協議会へ補助 1,000,000円	
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	群馬県地域支え合い体制づくり事業費市町村補助金 1,000,000円 (平成23年度) 地域支え合い体制づくり事業（厚生労働省） 1,000,000円	
⑫取組の課題	事務局体制をしっかりとしないと、事業実施及び運営が大変になってしまう。	
⑬今後の取組予定	繭の生産を引き続き行い、まゆ玉工芸等の研修会を実施し技術を習得し、体験教室などの講師として指導にあたって行きたい。生きがいの場、世代間交流の場として発展させて行きたい。	
⑭その他		
⑮担当部署及び連絡先	みなかみ町役場 町民福祉課 高齢介護グループ 0278-25-5012	

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。